

## 本書について

本書は、2004年1月17日から3月21日まで東京都現代美術館で行われた展覧会「MOTアニュアル2004 私はどこからきたのか／そしてどこへ行くのか」への出品作として書き始められたものです。同展の企画者である学芸員の関直子氏が、美術史書を執筆し展覧会の出品作とすることを念頭に、私に声をかけてくださいました。

会期の始まりまでに執筆が間に合わず、初日には暫定版を会場に展示し、数週間毎に改訂を重ねましたが、最終日にも完成には至りませんでした。その後も執筆を続けましたが、美術家である私としては作品制作を本書執筆より優先したため、なかなか進捗せず、すでに購入ご予約いただいた方ならびに関係者のかたがたには多大なご迷惑をおかけいたしました。この場を借りてお詫び申し上げます。

展覧会出品作という当初の意図から、ほとんどの図版は東京都現代美術館の所蔵作から選ばれました。キャプションに所蔵先または(C)マークが記載されている一部の作品以外は、全て同館の所蔵です。図版掲載にあたりましては2003年の時点で著作権者のかたがたにご許可をいただきました。厚く御礼申し上げます。

同展に出品された暫定版は小さい判型で、表紙には同館所蔵作の白眉、吉仲太造「地球人」をあしらいました。しかし同展終了後、引き続き執筆を続け出版することの意義を再度自問した結果、判型を大きくし、表紙には私の作品を用いることとしました。さらに図版を除く本書のテキストを、ウェブサイトアップロードすることにしました。

英訳ならびに英文コンサルタントはアヤ・オガワ氏、織部晴崇氏、有限会社サスケハナ・コーポレーション、中澤瑠薇子氏、テクノアーム株式会社をお願いいたしました。織部氏には全体にわたり監修していただきました。

著作権者のかたがたへのご連絡、暫定版制作作業では、植村麻子氏、藤田千彩氏にお世話になりました。

西沢碧梨氏、武田美和子氏、鍛冶充浩氏には、出版の実現に向けたご相談に乗っていただき、叱咤激励を賜りました。

本書執筆のアイデアを最初にござさり、さまざまにサポートしてくださいました東京都現代美術館学芸員の関直子氏、ならびに当時同館学芸員の笠原美智子氏に御礼申し上げます。

そのほか、大勢のかたがたからご助言や声援をいただきました。厚く御礼申し上げます。

2008年1月7日 中ザワヒデキ